

第11回むくみゼミナール特別イベント

『次世代の
トップ緩和ケア医に訊く!!』

アンケート結果

2023.8.6



セミナーの満足度（5段階）



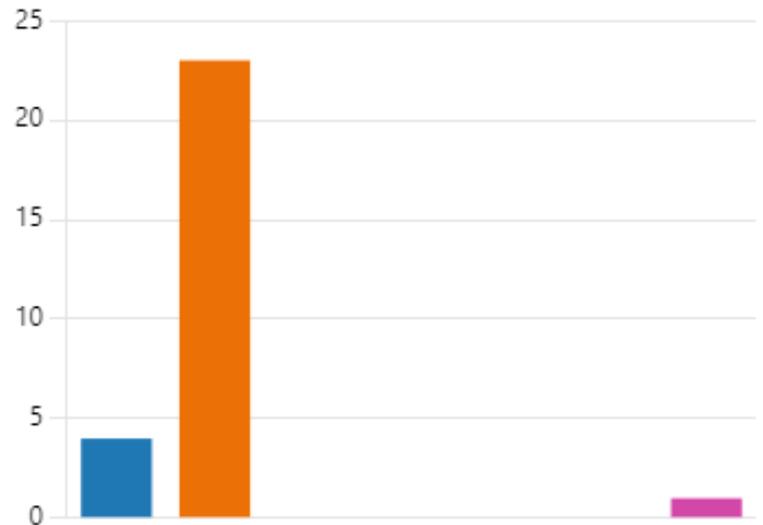
平均 4.88

質問：セミナーの視聴に問題はありませんでしたか？

3. セミナーの視聴に問題はありませんでしたか？（複数回答可）

詳細

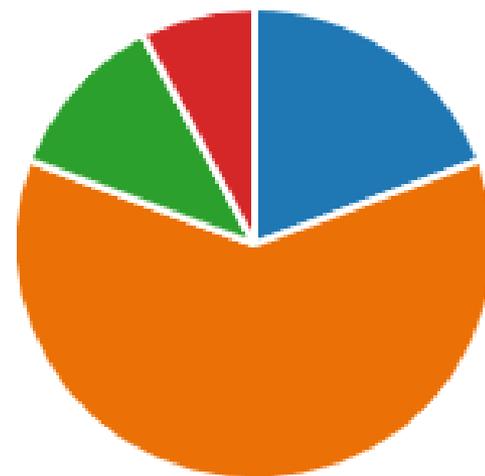
● 問題なかった	4
● 音声にやや不具合があった	23
● 音声に大きな不具合があった	0
● 画像にやや不具合があった	0
● 画像に大きな不具合があった	0
● チャットに不具合があった	0
● その他	1



終末期の患者さんのむくみケアに携わったことがありますか？

詳細

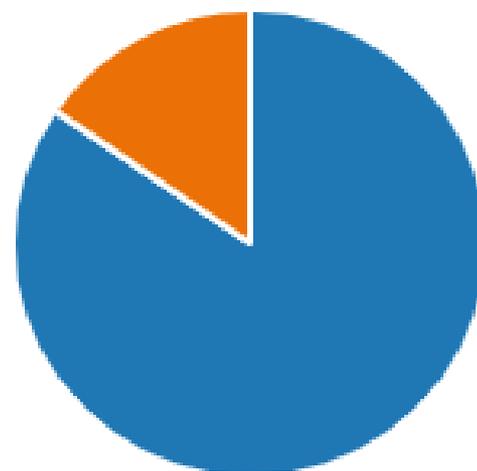
● よく携わっている	5
● たまに携わっている	16
● あまり携わっていない	3
● まったく携わったことがない	2



終末期の患者さんのむくみケアで困ったことはありますか？

詳細

● はい	22
● いいえ	4



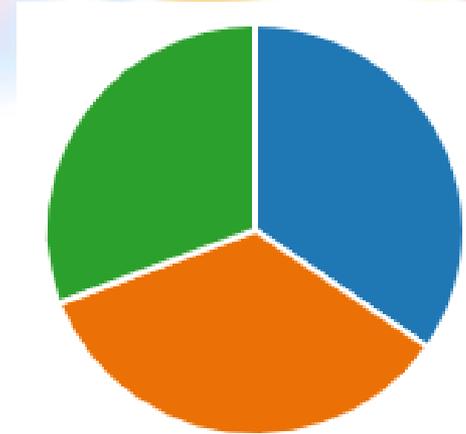
質問：終末期のケアで困っていることは何ですか？（一部抜粋）

- ・皮膚の硬さが取りにくい。
- ・痛みがとれない。
- ・圧迫物品の購入にあたり高価であったり、購入し手元に届いても使用する期間が短く予測がつかないため積極的に圧迫物品を紹介できませんでした。
- ・陰部浮腫の方のケアがなかなか圧迫もかけにくく難しさを感じます。
- ・頭頸部がん術後の方の顔のむくみの方のケアは難しさを感じます。実際のところ呼吸状態も悪かったりなどでできないことが多いです。
- ・腹水や胸水の貯留量の多い患者様における医療連携
- ・下肢リンパ浮腫で施設入所者の患者様。看護師がケアする事はほとんどなく、ケア方法を継続する難しさを感じました。
- ・終末期ですと、皮膚も脆弱で緊満感があり患者さんも痛みを訴える方が多いので、施術する側もどこまでケアすれば良いのか程度が分かりづらいです。今まで行ってきた事は、関節制限があればその部分をMLDで動かし易くする、等に対応していますが、その対応で良いのか？患者さんには満足頂いているのか…と、疑問に思う。

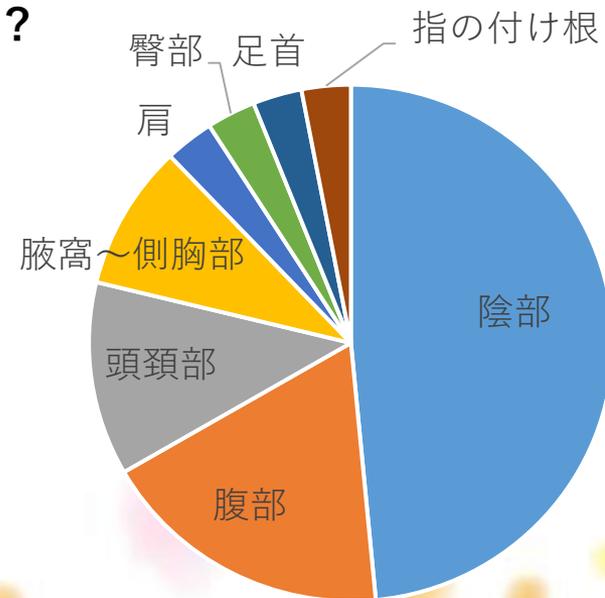
質問：終末期のケアで気を付けていることは何ですか？（一部抜粋）

- ・ 周径が細くならないことにあまりこだわらないようにしています。
- ・ 話をよくきく
- ・ 苦痛緩和と見離さない、という気持ちを伝えること
- ・ 皮膚の保護、保湿。またご家族や医療スタッフが最後までできるケアであることを提案しています。
- ・ スキンケアです！まずは皮膚の保湿状態を維持できるように心掛けています。皮膚が脆弱なためちょっとした刺激で皮膚の破綻が生じることもあるのでケアの際は丁寧に行うようにしています。
- ・ 浮腫減退というより苦痛緩和につながるケアを考えるようにしている
- ・ 腹水、血栓など多いので慎重にアセスメントしていく。その人にとって浮腫はどの程度苦痛となっているのか？など考えながら、悩みながら行ってます。
- ・ セラピストが望むこと（やりたいこと）、本人が望むこと、家族が望むこと、それぞれの限界はあるものの、その時々肉体的、精神的、最も安楽につながることを考えながらケアの内容を考えていくようにしている。
- ・ 施術をしながら、たわいもない会話をして患者さんが和む空間を心掛ける。

丸編みと平編みではどちらを多く使っていますか？



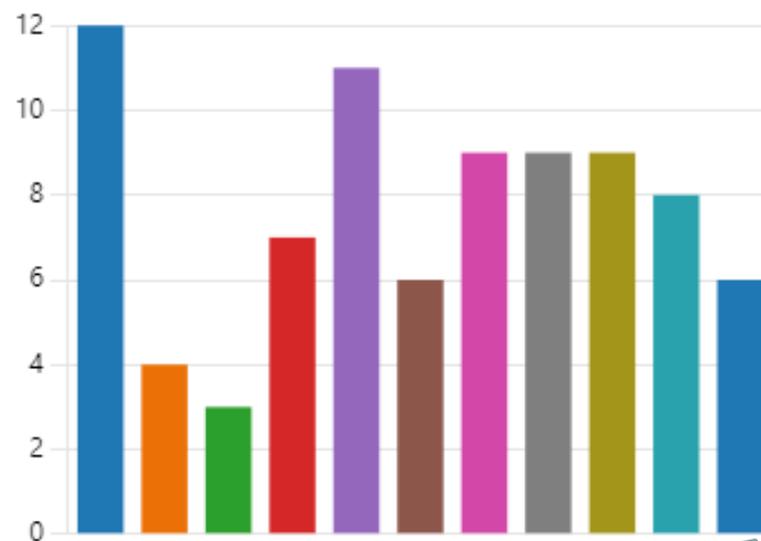
上肢・下肢以外で、浮腫の対応に困る部位は？



10. むくみゼミナールの特別イベントで取り扱ってほしいテーマはどれですか？（複数回答可）

詳細

● 用手的リンパドレナージ	12
● 外科治療	4
● 脂肪吸引	3
● 静脈瘤の治療	7
● 超音波検査	11
● 痛みの評価、治療	6
● 在宅医療	9
● 肥満症治療	9
● メンタルケア	9
● 海外のリンパ浮腫治療事情	8
● その他	6



スタッフへの浮腫教育
 終末期の浮腫ケア
 高齢者の圧迫療法
 圧迫用品選定 など…

質問：セミナーの感想をお聞かせください。（一部抜粋）

・緩和ケア期の実際の関わりについて具体例を多く聞けて大変勉強になりました。お空からの手紙が素敵でした。沼野先生の本を読んでみたくなりました。

・緩和ケアの介入時期についての表がとても納得でした。終末期になるに連れ緩和ケアの比重が大きくなっている、というのは考えてみればあたりまえですが、図になると目からウロコでした。患者さんから早くお迎えに来てほしい、と言われた時の回答に悩んでましたが、誰に来てほしい？って返すのはすごくいいですね。

・緩和期期の患者さんへの医療チームでのかわり方や具体的な内容は大変参考になります。ユーモアの重要性も重々承知しており、今後はユーモアのセンスを磨くことにもアンテナをはっていき行きたいと思います。毎回目から鱗的な内容に感動しております。

・緩和ケアについて、学ぶことが出来て、緩和についてさらに勉強したくなりました

・緩和ケアに関する内容は奥が深く、どのように接するのがよいか、よい意味での患者さんとの距離間の取り方など大変参考になりました。また、ユーモアの大切さや実際に患者さんとのやりとりを例に出してくださり心に入ってきました。

- ・がんやむくみに関わる関係職種のリアルなお話は興味深く今後も継続的に学ぶ機会があればありがたい。
- ・上肢の患者さんが少なく、経験値も低いことで苦手意識が少しありました経験豊かなセラピストの、やり方を教わることで安心につながりました
- ・不慣れな平編みのおすすめポイントが知れて、これからもっと前向きに患者さんにおすすめできそうです。
- ・ユコー社については全く使用したことがないので、特徴が理解できてよかった。平編みは価格、納期の問題もあり、ほとんどメディックス使用だが、今後ユコー社既製品平編みに関しても利用してみたい。
- ・今回も素晴らしい学びの機会をありがとうございました。緩和ケア、首都圏でもなかなか環境が整っておらず、初期から介入するのはなかなか難しいと感じていました。専門家の先生方からのお話は気付きの多い時間となりました。生と死、真反対のようですぐ近くにあるもの、医療者として寄り添うことは、家族が寄り添うこととまた違う。もう少し広い視野で関わっていきたいと思います。ありがとうございました。